電子複写不可

複製史料

沖縄関係資料

独立歩兵第二十一大隊略史

21IS 山下隊長 山中明少尉

14.7.
20.6.11

沖台
沖縄
111

防衛研修所戦史室

独立歩兵第三十二大隊略史

創立

昭和七年一月

徐州会戦後臨海線警備ノ目的ヲ以テ開封ニ創立ス

部隊長 中佐以下一五〇名

独立混成第一旅団独立歩兵第三十二大隊中補

当時旅団司令部ハ山東省張店ニ在リテ

当隊ハ東部西臨海線警備ニ任ズ

昭和十二年十月

作戦命令ニ依リ同司令部駐屯地タル張店ニ集結

部隊長ハ其ノ后山崎橋場各中佐ニ引継ヘ

当時ハ陸軍戸山学校教官タリシ引地中佐ナリ

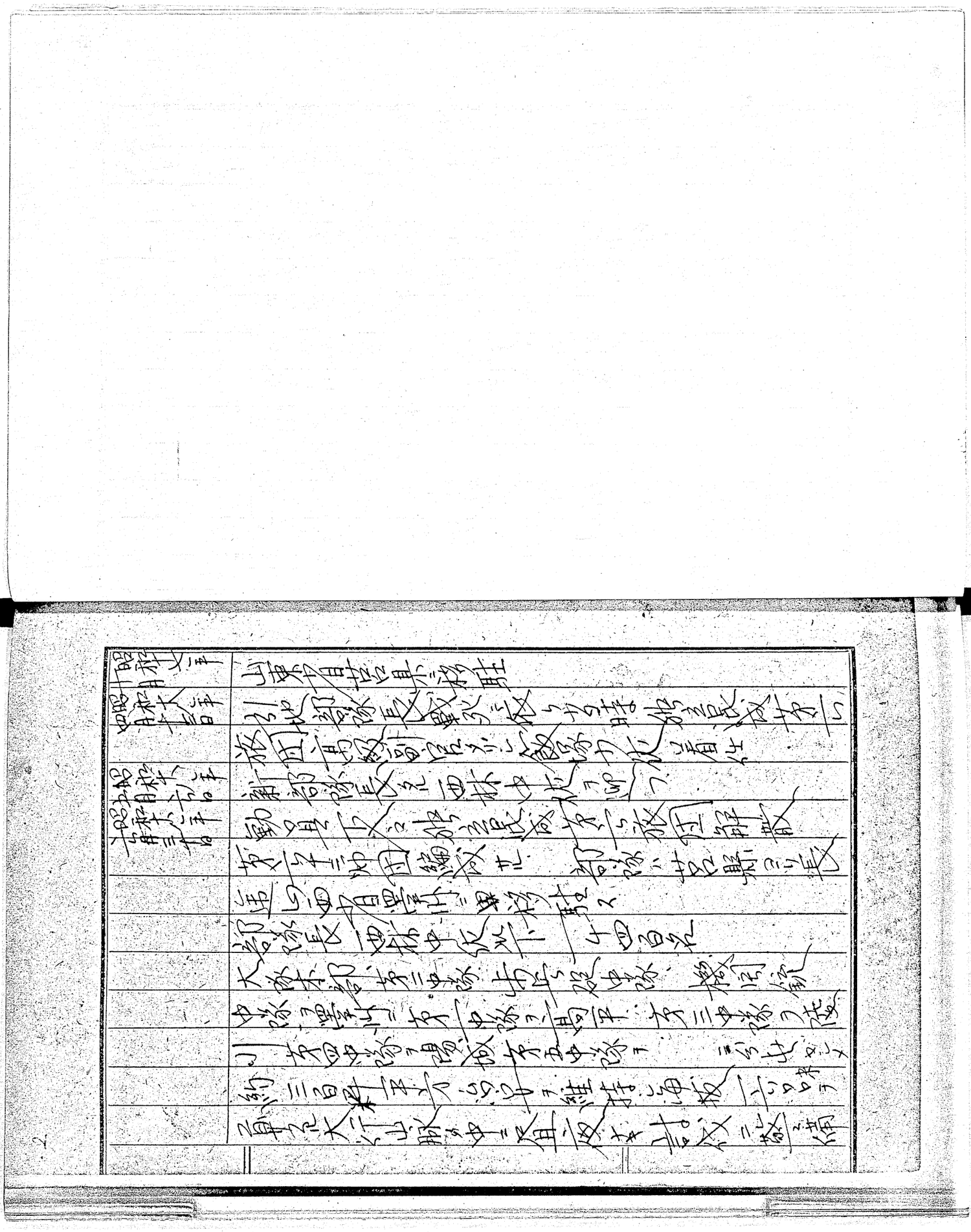
總員約九五〇名ヲ以テ昭和十七年一月昭和十

二年度末ニ隊ト同時ニ編成強化サレ

四ヶ中隊 中佐一 中少尉四 准尉五

下士官以下約一〇〇〇名、聯隊砲ニ
大隊砲ニ軍機八、日、支馬約四〇頭ヲ
救フ。爾后本格的野戰討伐部隊トシテ
新発足ス
通稱号第九二部隊ナリ
当時ヨリ將兵ハ六月中旬居留ハ二週
間足ラズニシテ支那人民家ニ又山野ニ伏シ
作戰計畫ニ終始セリ
第十三軍土橋中將ノ創業ニ完全ニ国
戰去ヨリ行ハレ戰果ハ日共ニ上リ部隊ニ男名ハ華北
ニ渡レリ

昭和十八年
九月
第一〇仲国南ニ轉進ニ伴ヒ東方一〇〇浜
ニ進駐次熱河方面ニ移ニ満ス終ヲ



精進ス

昭和十九年三月三日　軍大本營作命ニ基キ各中隊單位ニ集結

三月下旬ニ入リ山西ノ風雲愈々急部隊單位

城子後ニ路京漢作戰ノ道ニ着ケリ

昭和十九年四月十九日　黄河南岸霸王城陣地ニ拠捷夫多

河南平野ニ戰ヒ四、五、一日ト早裏候ハ

大熱ノ候ヲ十九、二十九軍精鋭ト闘ヒ

又泥濘飢餓ニ悩マサ

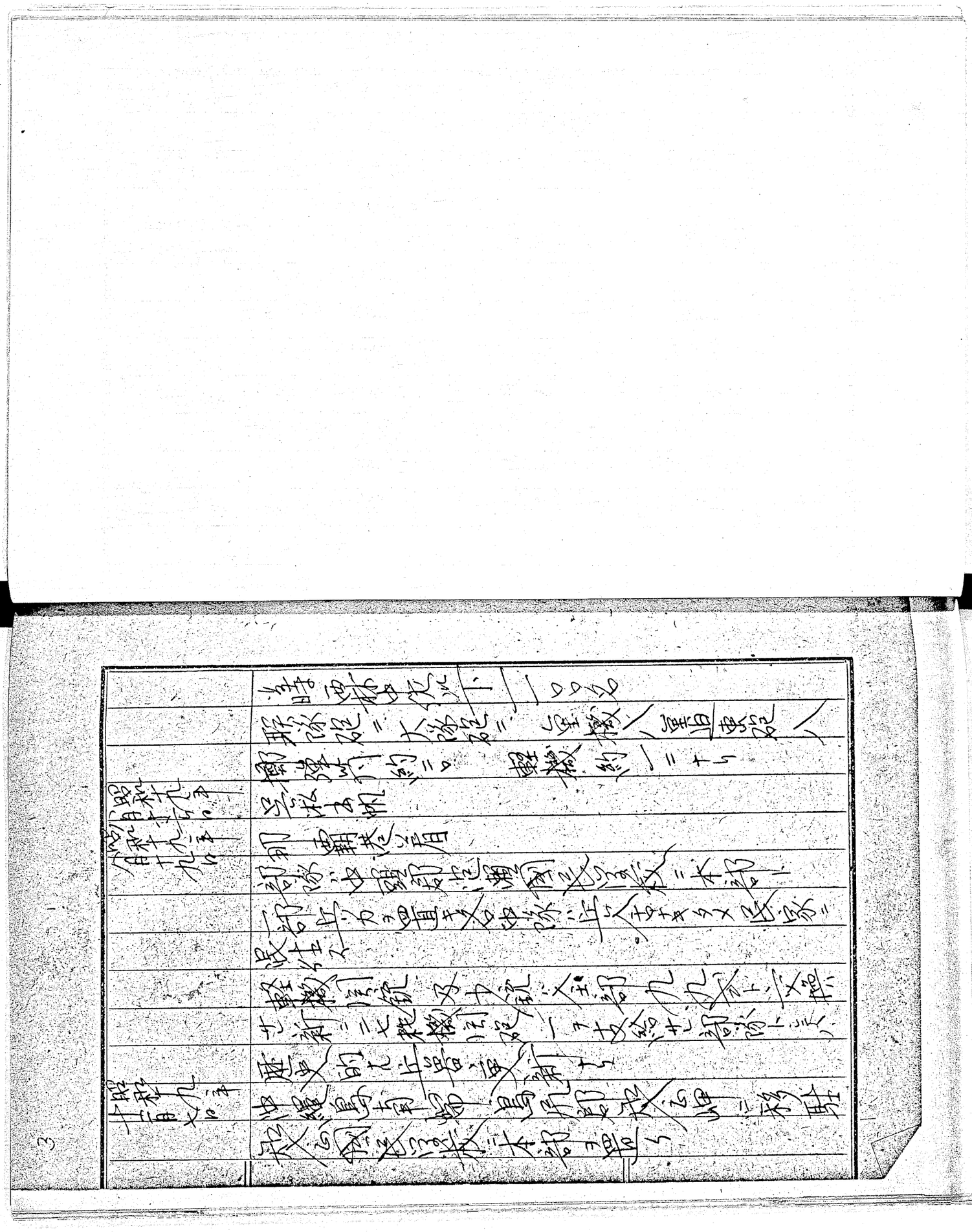
昭和十九年六月二日　大作戰ヲ敢行シ死傷者

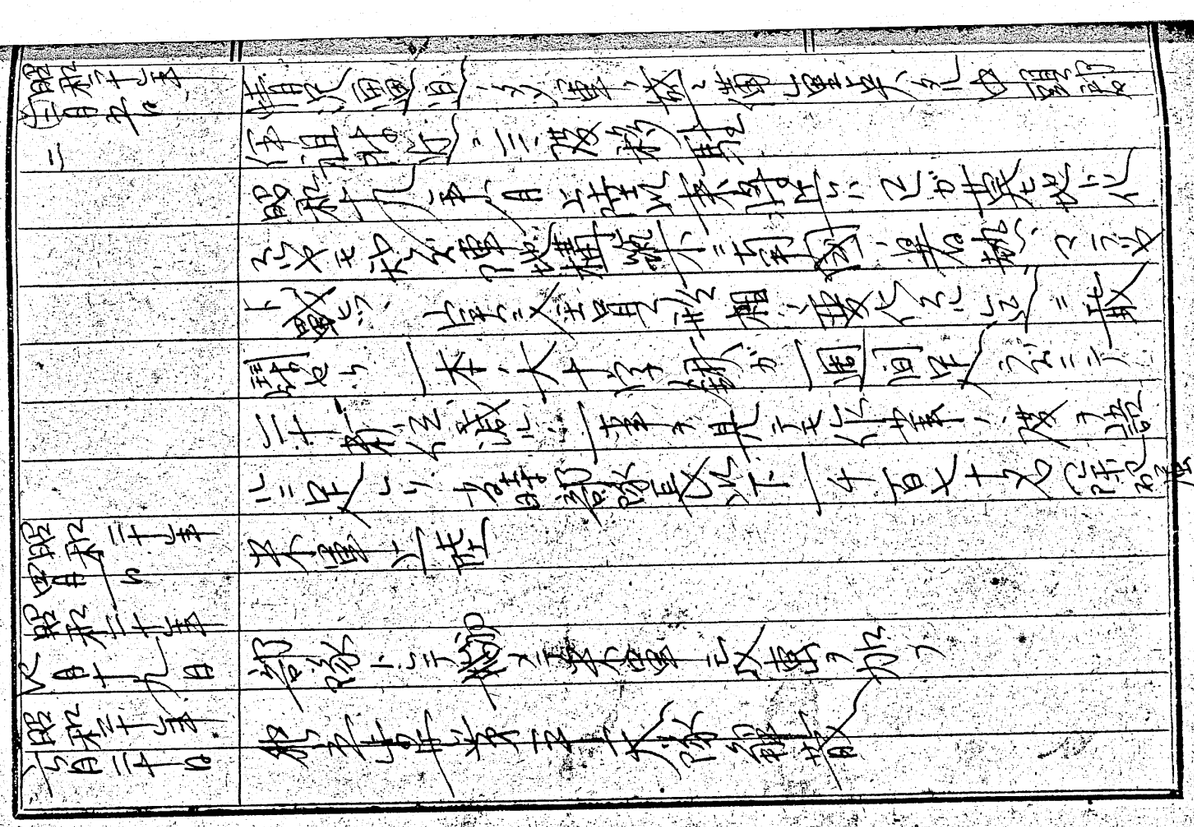
約三〇〇名ヲ算セリ

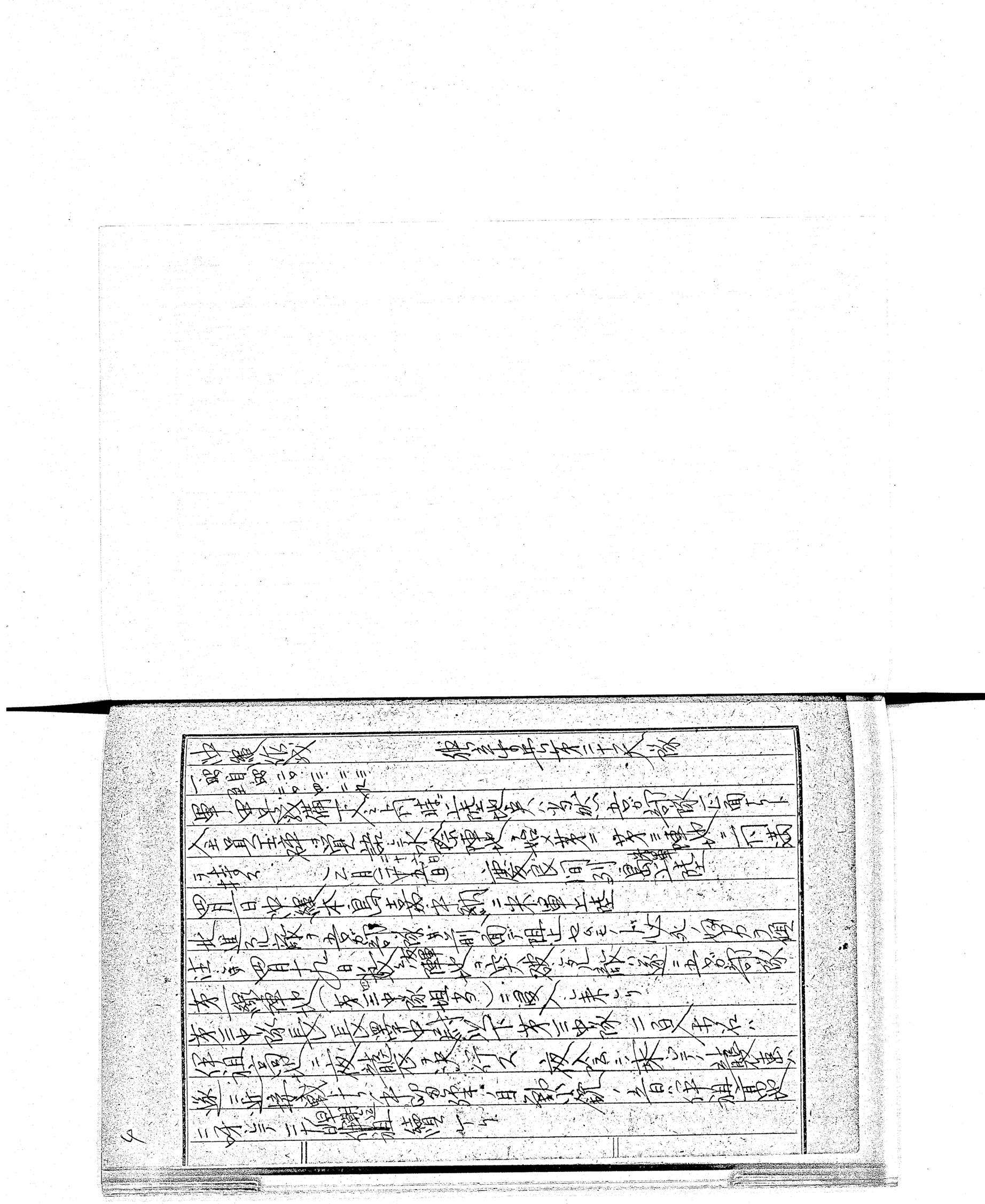
昭和十九年七月初旬　部隊ハ開封西北方十粁鎮ニ集結中繩

轉進ス　多人員馬匹數四輝ヲ行ヒ

昭和十九年七月末日　俱東輸送ニ依リ北京地ニ到着







夜間奪戰果ヲ確認セントシ相当損害ヲ与ヘタルモノ如シ一度後退セシモ敵ハ再ビ新手ヲ加ヘテ早朝戰
車隊ヲ加ヘテ攻撃ニ来リ第三中隊モ二十日朝迄ニ長堡中尉以下約百五十名ヲ失ヒ遂ニ二十日第一線陣地ヲ
突破セラレタリ伊祖高地ニ彼我ノ死体ガ累々トシテ横ハタハルヲ見ル伊祖ニ至リテ敵ハ二手ニ別レテ一方ハ
西海岸道ヲ一方ハ伊祖ヲ突破シ其方ハ次ノ部落ヲ経テ城間ヲ目ニ向フテ前進コノ間第三中隊ヲ殺シテ味方隊本部
第四第五機関銃中隊ハ歩兵部隊ニ速射砲中隊ハ迫撃砲ソレニ配属部隊ニ速射
矢交祖中渡茶四高地ニ陣列シ戰車ガ間断サレタリ
第一中隊ハ渡口ニ向フテ前進スル敵戰車隊ニ對シ果敢ニ
肉迫攻撃ヲ行ヒ伊祖高地下ニ於テ十台輛戰車ヲ撃破

七月二十日夜来中隊及機関銃中隊ノ一部ガ来リノ敵ニ対シ夜襲ヲ実行ス　其ノ大隊本部及第四中隊ノ一部ハ城河ニ於テ迎撃ス　第五中隊ハ四四高地ニ対シテ全員斬込ヲ敢行ス　四月二十一日ノ四月二十一日迄附近約一キロ料内外地点ハ夜戦ノ乱シテノ死ヲ繰返シ

ヒシタリ　此ノ間昼ハ消極的戦ヲ中ヲ夜トモナレバ三三五五

安ハ敵陣目ガケテ果敢ニ斬込ヲ敢行セリ

然ルニ我ハ制空権　制海権ナキ島ノ作戦ハ吾ガ軍ニ

利アラズ戦車ヲ先頭ニ前進ス敵歩兵ハ新手ヲ繰リ出シ　水陸両用戦車ニ合シ M4戦車約四〇輌ヲ裏

破ス　皇機　但重砲　其ノ多数ノ戦利品ヲ失ヒ手ガ得

タリト雖モ　約七〇〇ノ兵ヲ失ヒ　負傷者ヲ多クタリ

四月二十一日　部隊ハ主部ヲ統合シ宮城

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

◎ 蘇生法は、まれに水中分娩後、数時間
たってから、まれに産まれてくる赤ちゃん